

* メールソフトの設定(POP) / MacOS Mail (Yosemite)

Apple社の標準メールアプリであるMailの設定方法をご案内いたします。

* MacOS Mail (Yosemite) 設定方法(POP)

- [アカウント作成方法](#)(送信：587番ポート / 受信：110番ポート)
- [SMTP25番ポートの設定方法](#)
- [POP over SSLの設定方法](#)
- [SMTP over SSLの設定方法](#)

※CentOS 7系のビジネス・パーソナルシリーズのサーバーを利用している方と、CentOS6/5系の専用サーバー / マネージドVPSでIMAPオプションを利用している方でIMAPの使用をご希望の場合は[IMAPの設定方法](#)をご確認ください。

* アカウント作成方法(送信：587番ポート/受信：110番ポート)

■ 1.環境設定画面を開きます。

Mail を起動し、「Mail」→「環境設定」メニューをクリックします。

図1.メニュー



■ 2.追加するメールアカウントを選択します。

「追加するメールアカウントを選択...」画面が表示されたら、「その他のメールアカウントを追加」を選択し「続ける」をクリックします。

図2.追加するメールアカウントを選択



■ 3.アカウント情報を設定します。

「メールアカウントを追加」の画面で、レンタルサーバー登録通知書を参考に下記のように入力します。

入力項目

氏名	覚えやすい名前を入力してください
メールアドレス	登録通知書にある「メールアドレス」をご記入ください
パスワード	登録通知書にある「パスワード」をご記入ください

図3.メールアカウントを追加

@ メールアカウントを追加

最初に、次の情報を入力してください:

名前: 任意の名前

メールアドレス: staff@sppd.ne.jp

パスワード: ●●●●●●

キャンセル 戻る サインイン

■ 4.POPサーバーを設定します。

「受信メールサーバの情報」の画面で、レンタルサーバー登録通知書を参考に下記のように入力し「次へ」をクリックしてください。

入力項目

アカウントの種類	「POP」を選択してください
メールサーバー	登録通知書にある「受信用メールサーバー」をご記入ください
ユーザー名	登録通知書にある「ユーザー名」をご記入ください
パスワード	登録通知書にある「パスワード」をご記入ください

図4.受信メールサーバの情報

受信メールサーバの情報

アカウントの種類: IMAP POP

メールサーバ: pop.sppd.ne.jp

ユーザ名: sppd00001

パスワード: ●●●●●●

キャンセル 戻る 次へ

■ 5.「証明書を検出」という画面が表示されたら、「接続」をクリックしてください。

図5.証明書を検出

証明書を検証

このサーバの証明書は不正です。" の識別情報を確認できません。

このサーバの証明書は不正です。" に偽装したサーバに接続している可能性があります。機密情報が漏えいするおそれがあります。それでもこのサーバに接続しますか？

? 証明書を表示 キャンセル 接続

■ 6.SMTPサーバーを設定します。

「送信メールサーバの情報」の画面で、レンタルサーバー登録通知書を参考に下記のように入力し「作成」をクリックしてください。

入力項目

SMTPサーバ	登録通知書にある「送信用メールサーバー」をご記入ください
ユーザー名	登録通知書にある「ユーザー名」をご記入ください
パスワード	登録通知書にある「パスワード」をご記入ください

図6.送信メールサーバの情報

送信メールサーバの情報

SMTP サーバ:

ユーザ名:

パスワード:

■ 7.POPサーバーの設定変更をします。

「アカウント」の画面が表示されましたら、「詳細」タブをクリックして「アカウント設定を自動的に検出して管理」と、下段にあります「SSLを使用」のチェックをはずし、ポートの所に「110」を入力してください。「セキュリティ保護されていない認証を許可」にはチェックを入れます。

※ 「メッセージ受信後にメッセージのコピーをサーバーから削除」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを入れ、「即時」選択してご利用ください。サーバーにメールのコピーを残す場合、「1日後」または「1週間後」を設定頂くようお願い致します。

図7.詳細

アカウント

一般 アカウント 迷惑メール フォントとカラー 表示 作成 署名 ルール

アカウント情報 メールボックスの特性 **詳細**

アカウント設定を自動的に検出して管理

新規メッセージを自動的に受信するときに含める

メッセージ受信後にメッセージのコピーをサーバから削除:

即時

メッセージのサイズが KB を超えるときに警告

以下の詳細オプションを変更するときは、事前にシステム管理者に確認してください。

ポート: SSLを使用

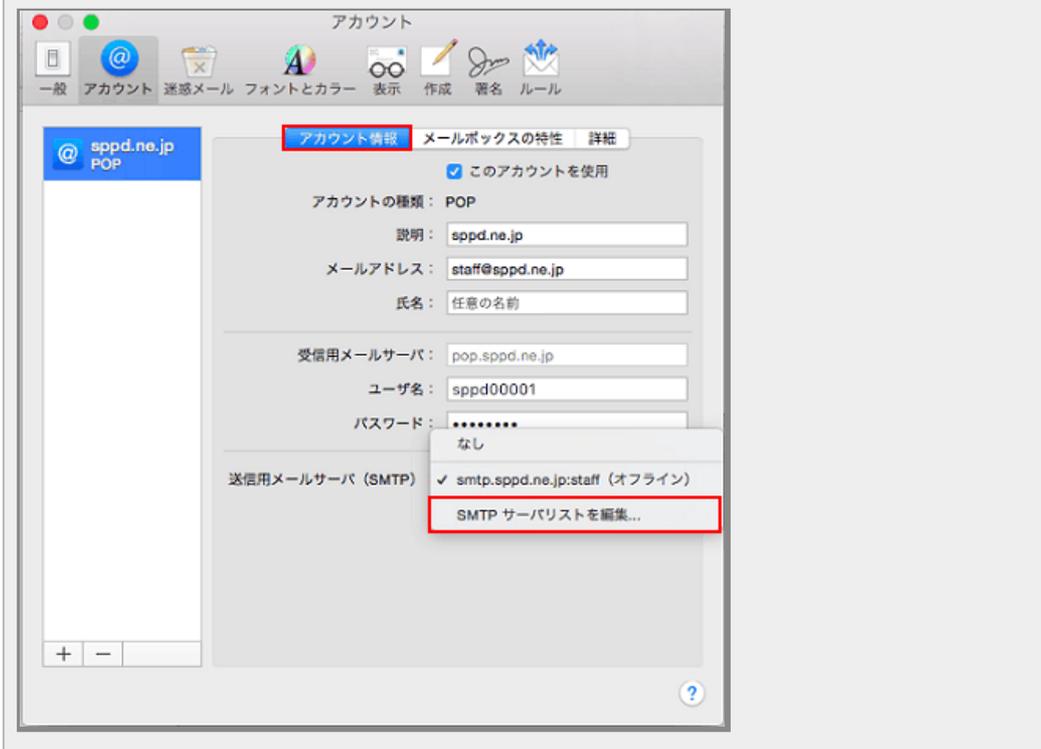
認証:

セキュリティ保護されていない認証を許可

■ 8.SMTPサーバーの設定変更をします。

「アカウント情報」のタブをクリックし、表示されたページの「送信用メールサーバー」からご利用になるメールアカウントのSMTPサーバーを選択し「SMTPサーバーリストを編集...」をクリックしてください。

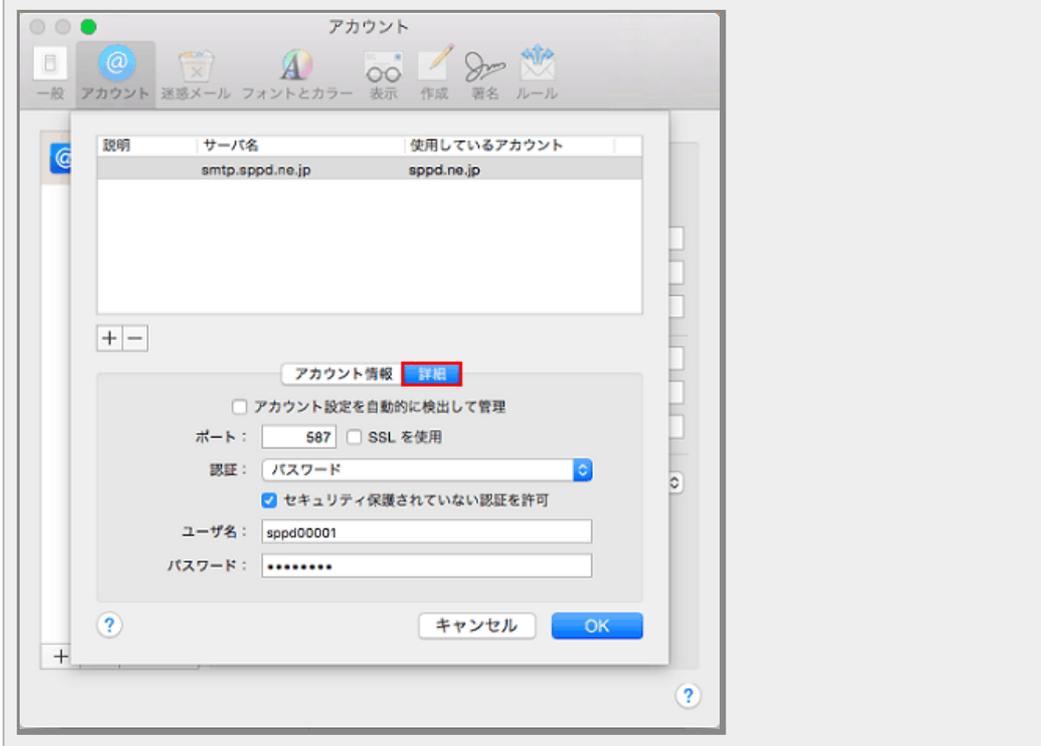
図8 .アカウント情報



■ 9.SMTPサーバーの詳細の設定変更をします。

「詳細」タブをクリックして「アカウント設定を自動的に検出して管理」と、「SSLを使用」のチェックをはずし、ポートの所に「587」を入力します。次に「認証」の矢印をクリックして「パスワード」を選び、「セキュリティ保護されていない認証を許可」のチェックを入れます。最後に下のユーザー名とパスワードが入力されていることを確認し「OK」ボタンをクリックします。

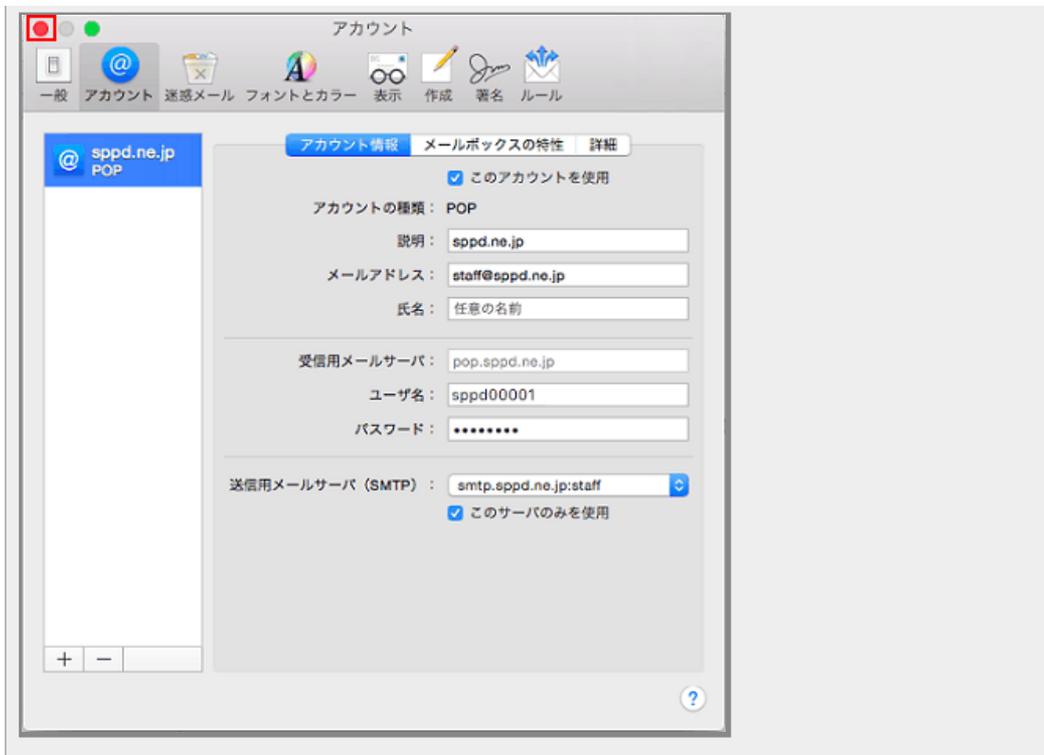
図9 .アカウントの詳細変更



■ 10.編集箇所の確認。

「アカウント情報」画面が表示されたら、「送信用メールサーバー」のに先程入力したユーザ名が表示されていることを確認して、左上の閉じるボタンをクリックして下さい。

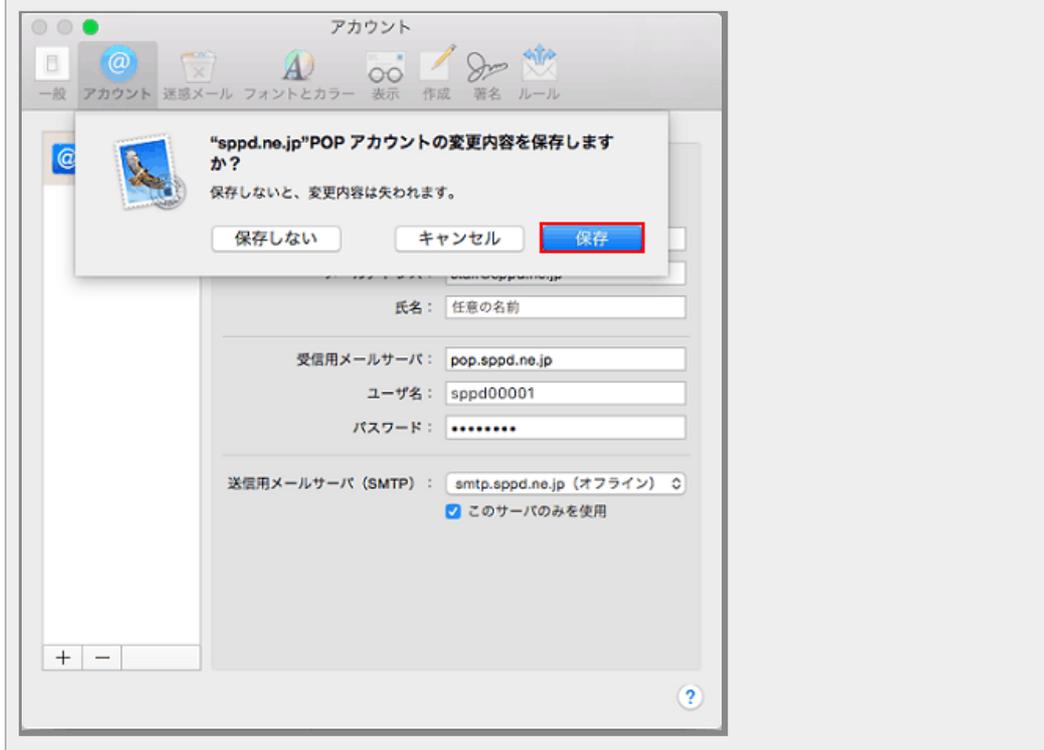
図10.アカウント情報



■ 11.編集完了。

下の画面が表示されたら「保存」をクリックし、編集は完了です。

図11.アカウント編集の保存



★ SMTP 25番ポートの設定方法

サブミッションポートを使用せず、25番ポートを利用する場合の設定方法です。

※ ご利用のプロバイダーで「ポート25ブロッキング」が利用されていないことを確認し、設定を行ってください。

■ 1.環境設定画面を開きます。

Mail を起動し、「Mail」→「環境設定」メニューをクリックします。

図1.メニュー

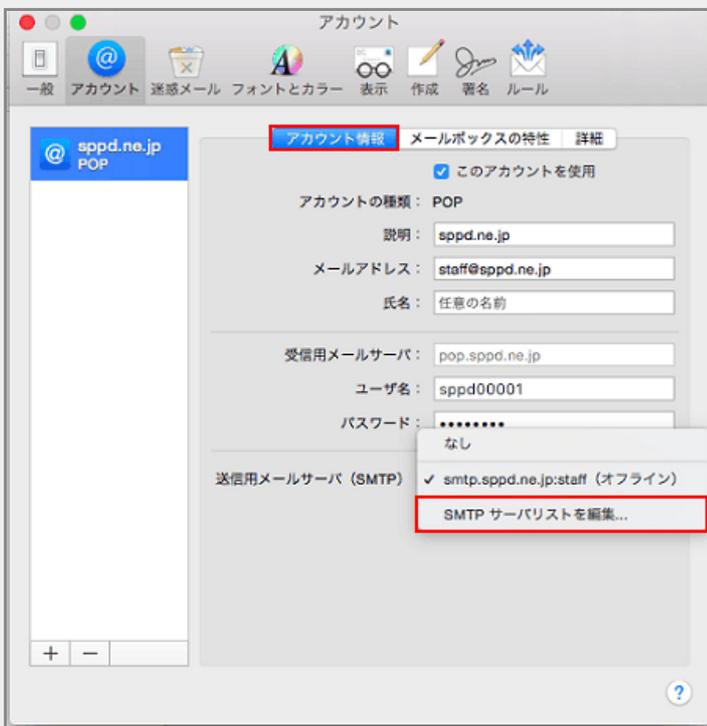


■ 2.アカウントの編集をします。

「アカウント」画面が表示されたら、ご使用のメールアカウントをクリックして「アカウント情報」をクリックしてください。

表示されたページの「送信用メールサーバー」からご利用になるメールアカウントのSMTPサーバーを選択し「SMTPサーバーリストを編集...」をクリックしてください。

図2.アカウント情報

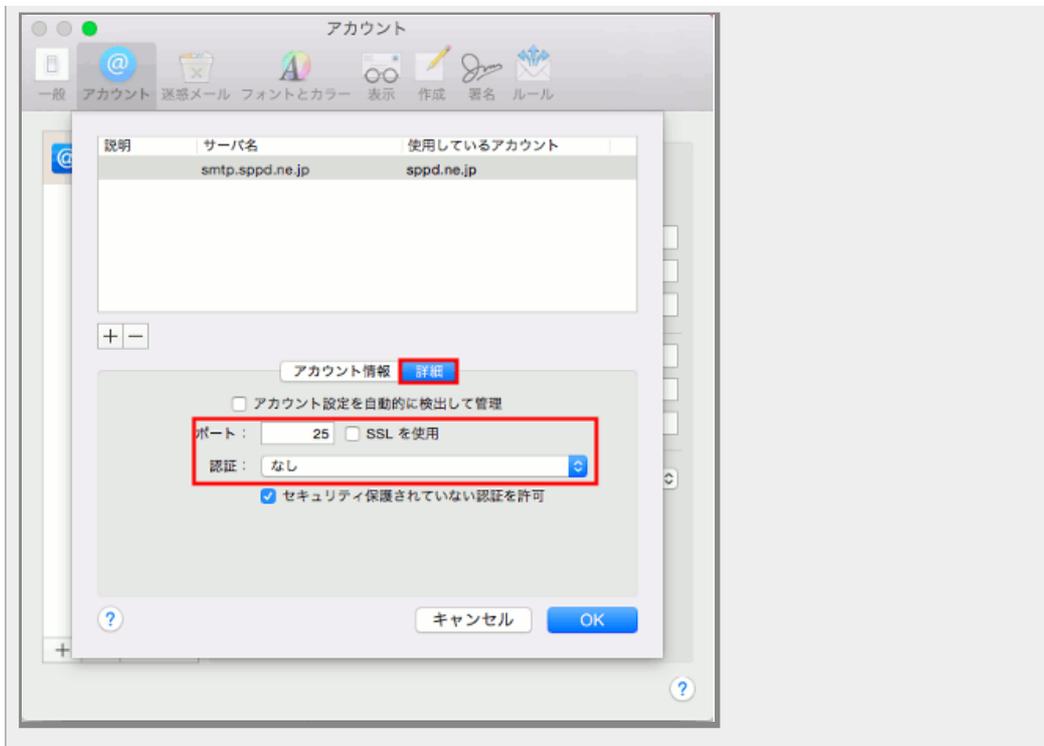


■ 3.詳細の設定変更。

「詳細」タブをクリックして、ポートに「25」を入力します。次に「認証」の矢印をクリックして「なし」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

図3.アカウントの詳細変更

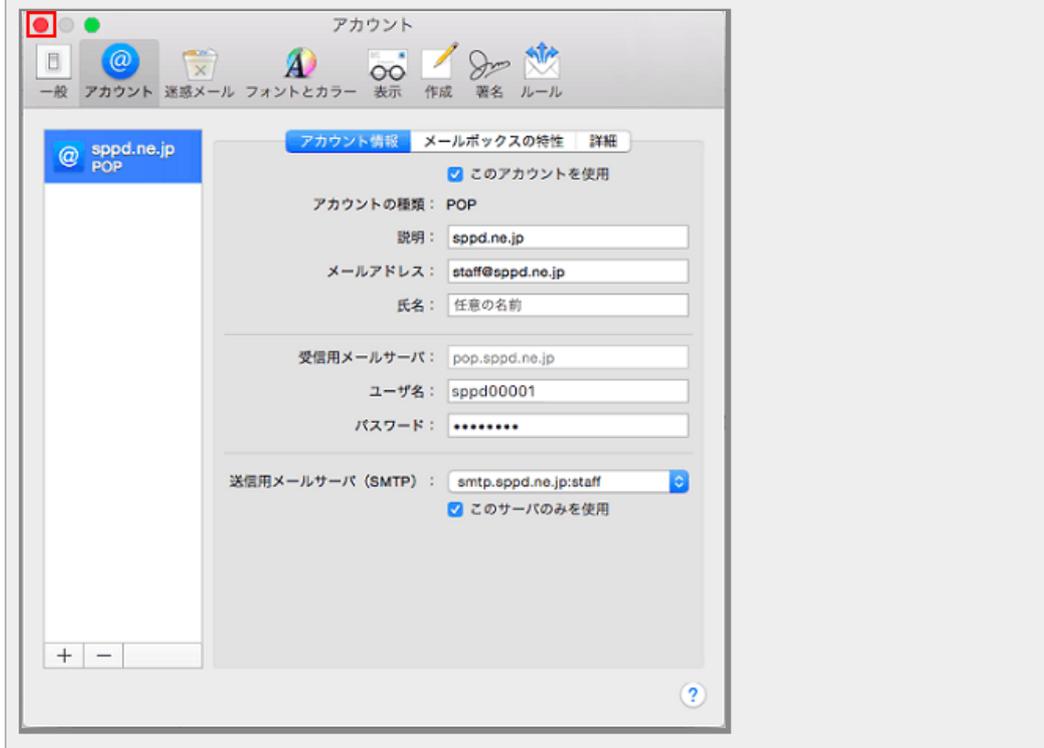




■ 4.編集箇所の確認。

「アカウント情報」画面が表示されたら、「送信用メールサーバー」のに先程入力したユーザ名が表示されていることを確認して、左上の閉じるボタンをクリックして下さい。

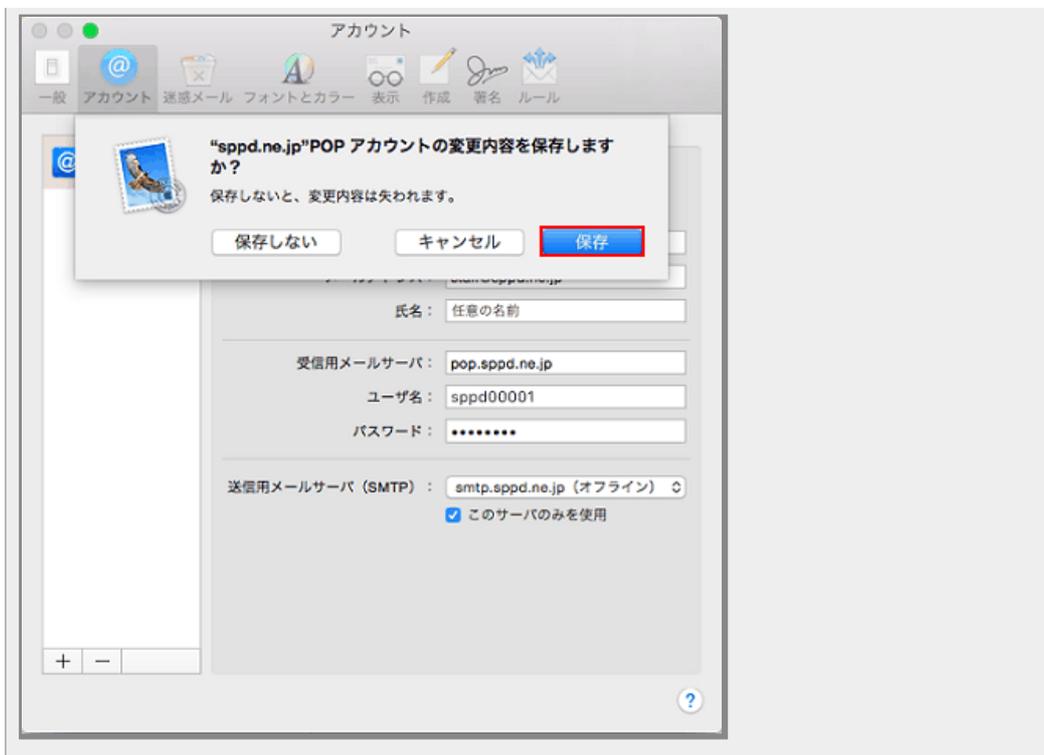
図4.アカウント情報



■ 5.編集は完了です。

下の画面が表示されたら「保存」をクリックし、編集は完了です。

図5.アカウント編集の保存



※ SPDDレンタルサーバーでは、[POP before SMTP機能]により、POP3によるメールの受信をしてから20分間だけメールの送信が可能ですが、[POP over SSL]での受信動作では送信可能になりません。そのため、メール送信の際には、通常のPOP3で一旦受信を行っていただくか、このページの中ほどに記載されているサブミッションポート(587番)を利用してメールを送信してください。

★ POP over SSLの設定方法(任意)

メール受信時の通信を暗号化する「POP over SSL」を利用する場合の設定方法をご案内します。

※ ここまでの設定で、通常のメール送受信は可能です。「POP over SSL」を利用される方のみ任意で設定してください。

■ 1. 「POP over SSL」を利用する場合の設定

「POP over SSL」を利用する場合の設定をします。「Mail」→「環境設定」メニューをクリックします。

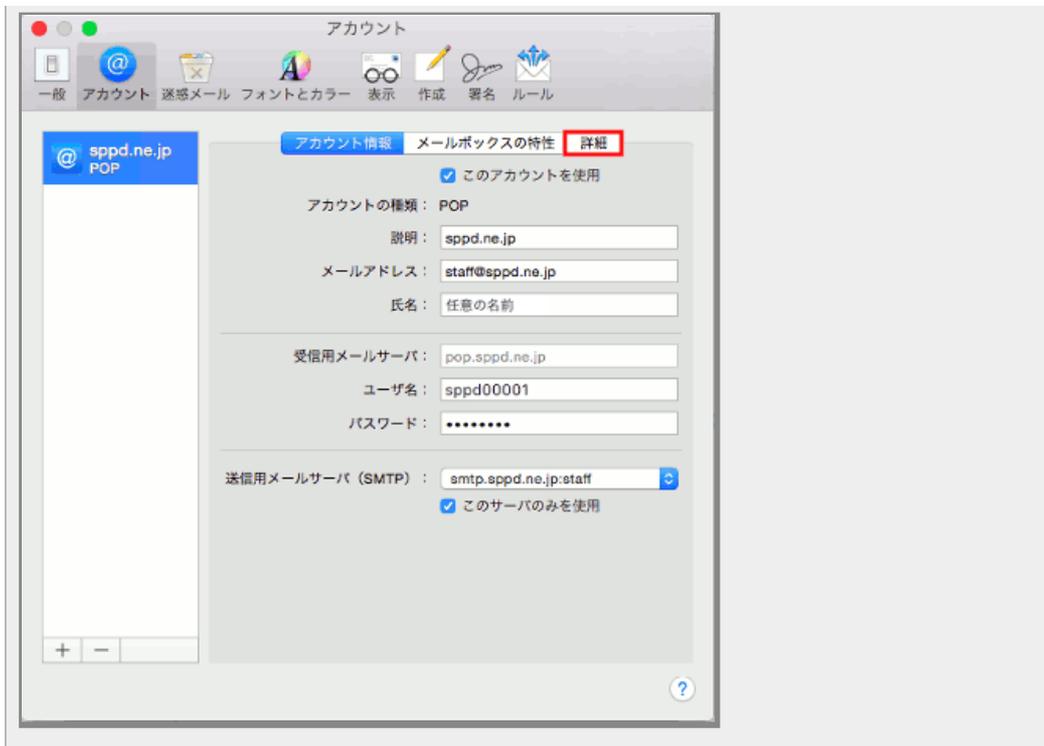
図1.メニュー



■ 2. アカウントの編集をします。

「アカウント」画面が表示されたら、ご使用のメールアカウントをクリックして「詳細」をクリックしてください。

図2.アカウントメニュー

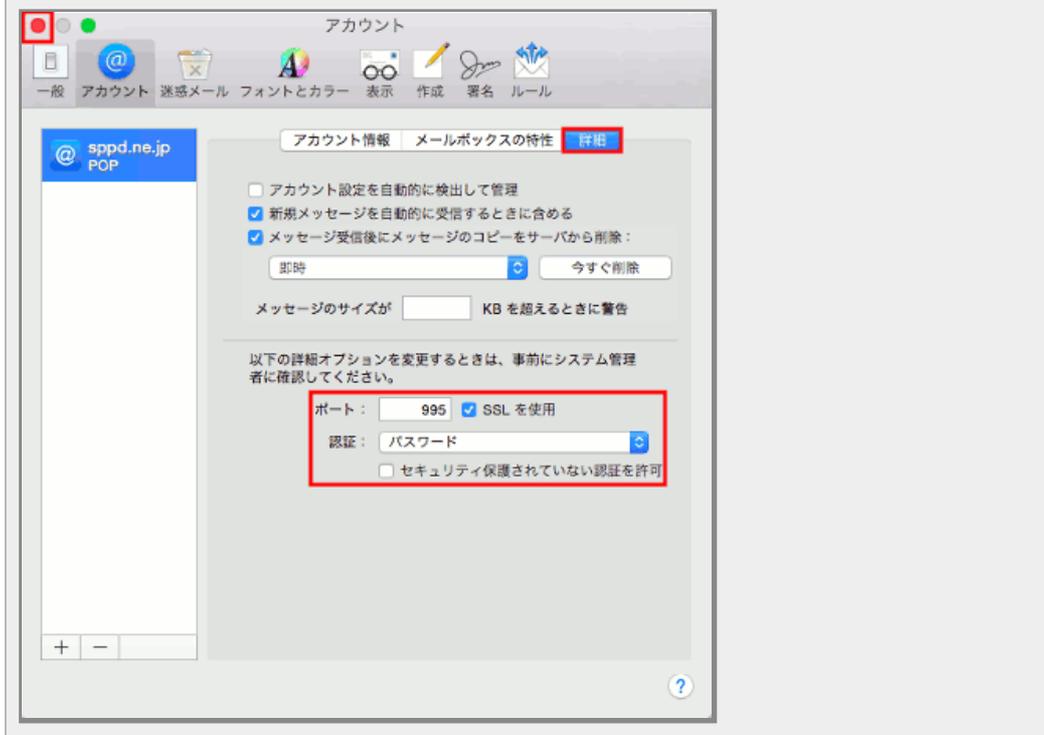


■ 3.詳細の設定変更。

ウィンドウ下部のポートの所に「995」と入力します。次に、その右隣にある「SSLを使用」にチェックマークを入れて、下の認証はパスワードを選択してください。最後に「セキュリティ保護されていない認証を許可」のチェックははずし、左上の閉じるボタンをクリックして下さい。

※ 「メッセージ受信後にメッセージのコピーをサーバーから削除」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを入れ、「即時」選択してご利用ください。サーバーにメールのコピーを残す場合、「1日後」または「1週間後」を設定頂くようお願い致します。

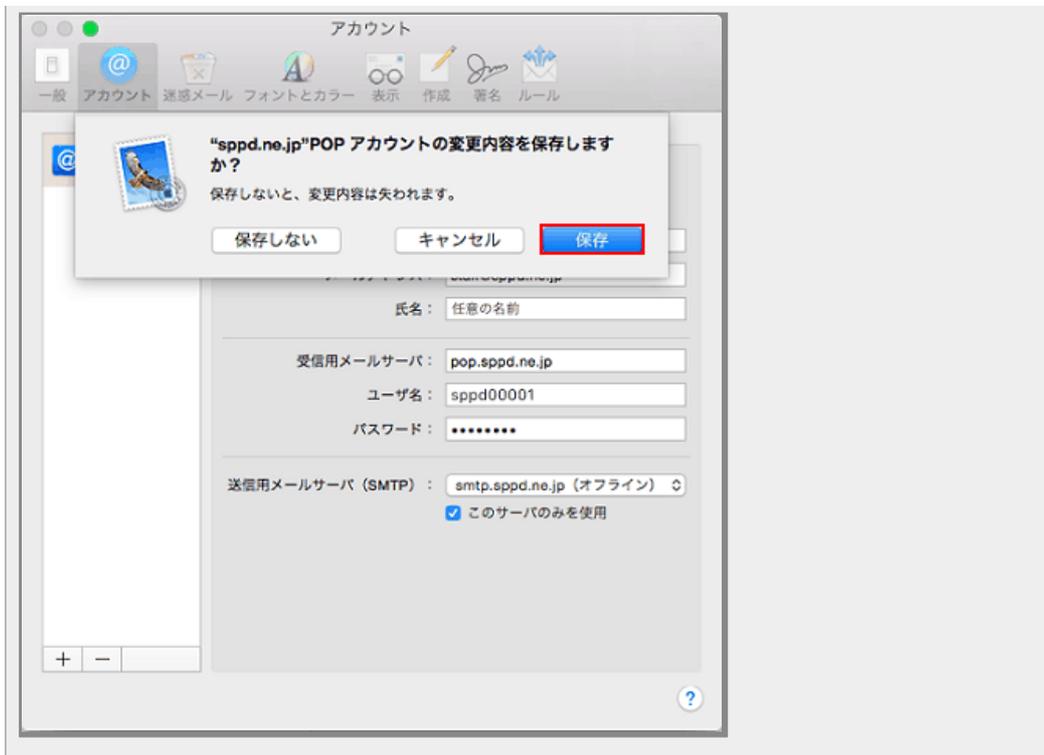
図3.アカウントの詳細変更



■ 4.編集は完了です。

下の画面が表示されたら「保存」をクリックし、編集は完了です。

図4.アカウント編集の保存



■ 5. 証明書の警告の消去方法(共用サーバーご利用のお客様のみ)

POP over SSLを設定しますと、Mailを起動して1回目のメール受信時のみ証明書の警告が表示されます。以下の図の警告が表示されましたら、「接続」ボタンをクリックしてください。



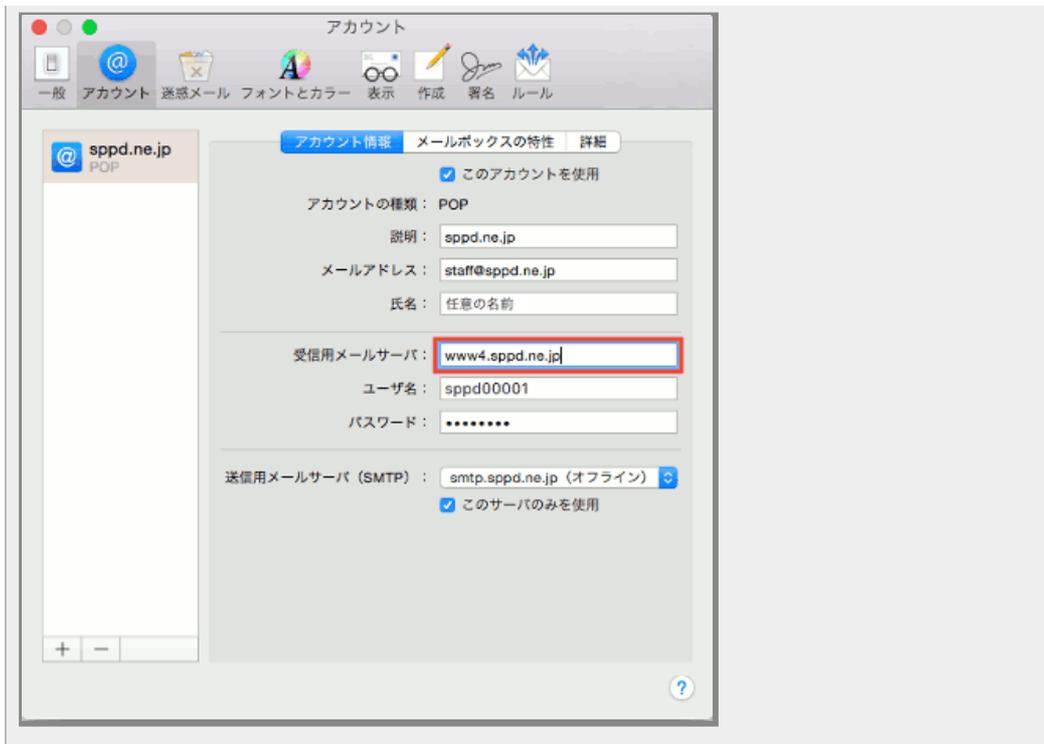
共用サーバーをご利用の場合のみ、警告を出さないように設定することができます。専用サーバー・VPS・代理店制度では設定ができません。まず、お客様のドメインがどの共用サーバーに属しているかを検索する必要があります。→[所属サーバーの検索方法](#)

共用サーバー名が判明しましたら、POP3サーバー名を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更します。

「アカウント情報」画面で、「受信用メールサーバー」を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更してください。

※ (画像内「www4.sppd.ne.jp」は、あくまでも例です。お客様によってサーバー名が異なりますのでご注意ください。)

図6. アカウントの編集



✳ SMTP over SSLの設定方法(任意)

メール送信時の通信を暗号化する「SMTP over SSL」を利用する場合の設定方法をご案内します。

※ ここまでの設定で、通常のメール送受信は可能です。「SMTP over SSL」を利用される方のみ任意で設定してください。

■ 1. 「SMTP over SSL」を利用する場合の設定

「SMTP over SSL」を利用する場合の設定をします。「Mail」→「環境設定」メニューをクリックします。

図1.メニュー

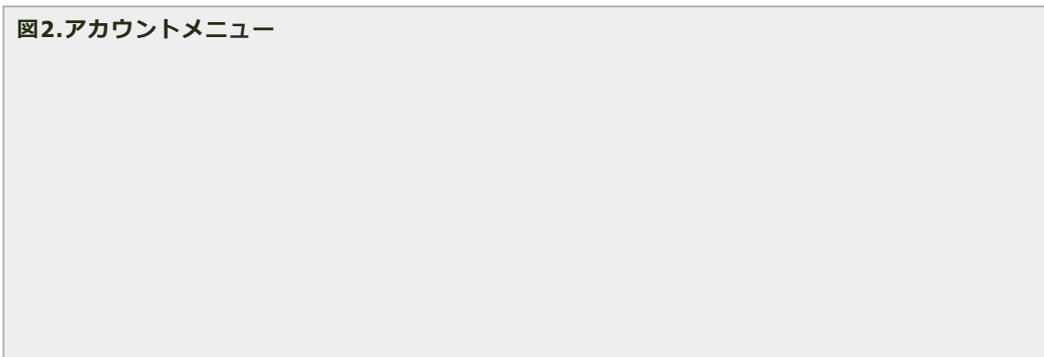


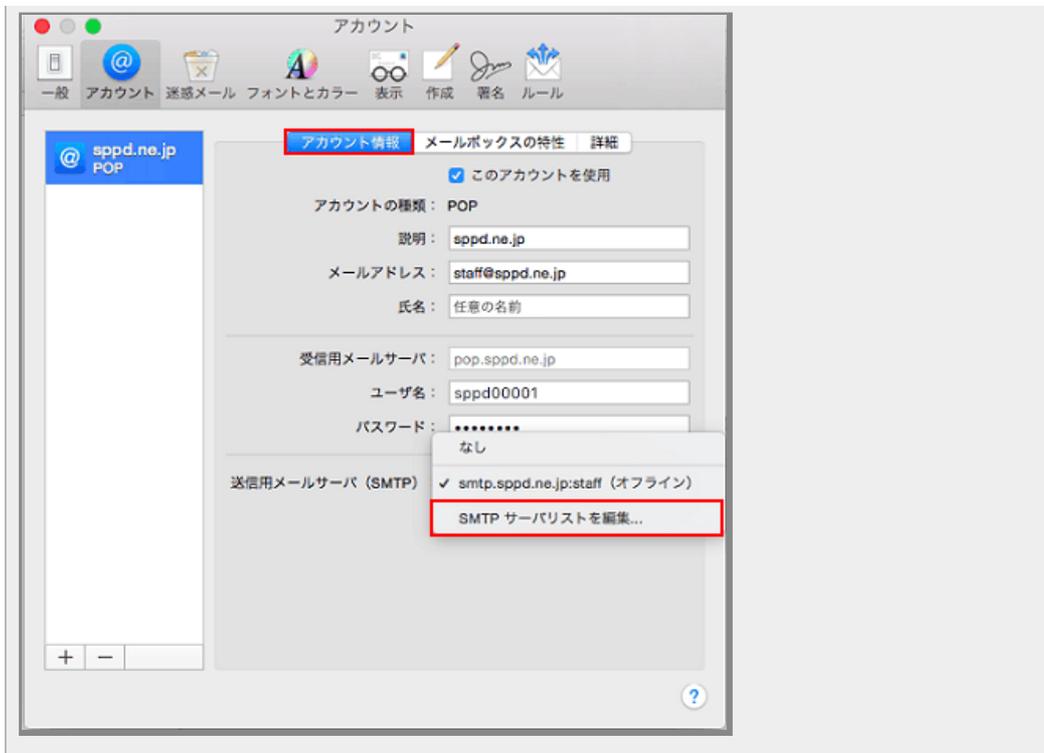
■ 2. アカウントの編集をします。

「アカウント」画面が表示されたら、ご使用のメールアカウントをクリックして「アカウント情報」をクリックしてください。

表示されたページの「送信用メールサーバー」からご利用になるメールアカウントのSMTPサーバーを選択し「SMTPサーバーリストを編集...」をクリックしてください。

図2.アカウントメニュー

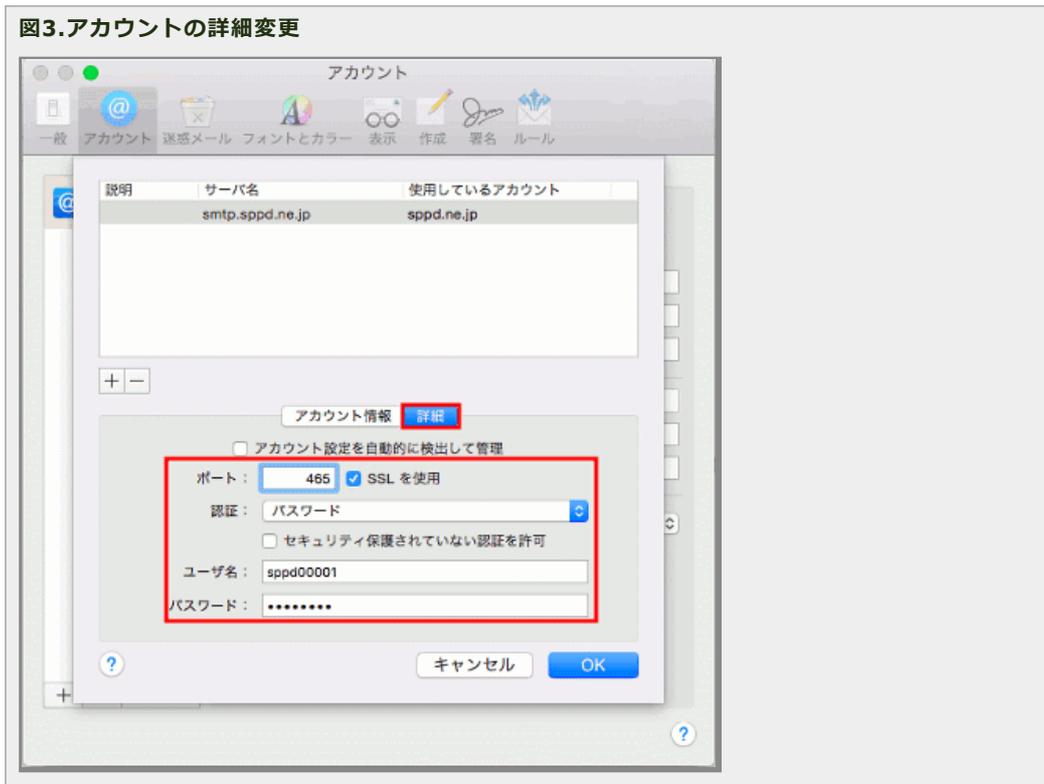




■ 3.詳細の設定変更。

「詳細」タブをクリックして、ポートの所に「465」を入力します。次に、その右隣にある「SSLを使用」にチェックマークを入れて、下の認証はパスワードを選択してください。最後に「セキュリティ保護されていない認証を許可」のチェックははずし、レンタルサーバー登録通知書に記載されているユーザIDとパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。

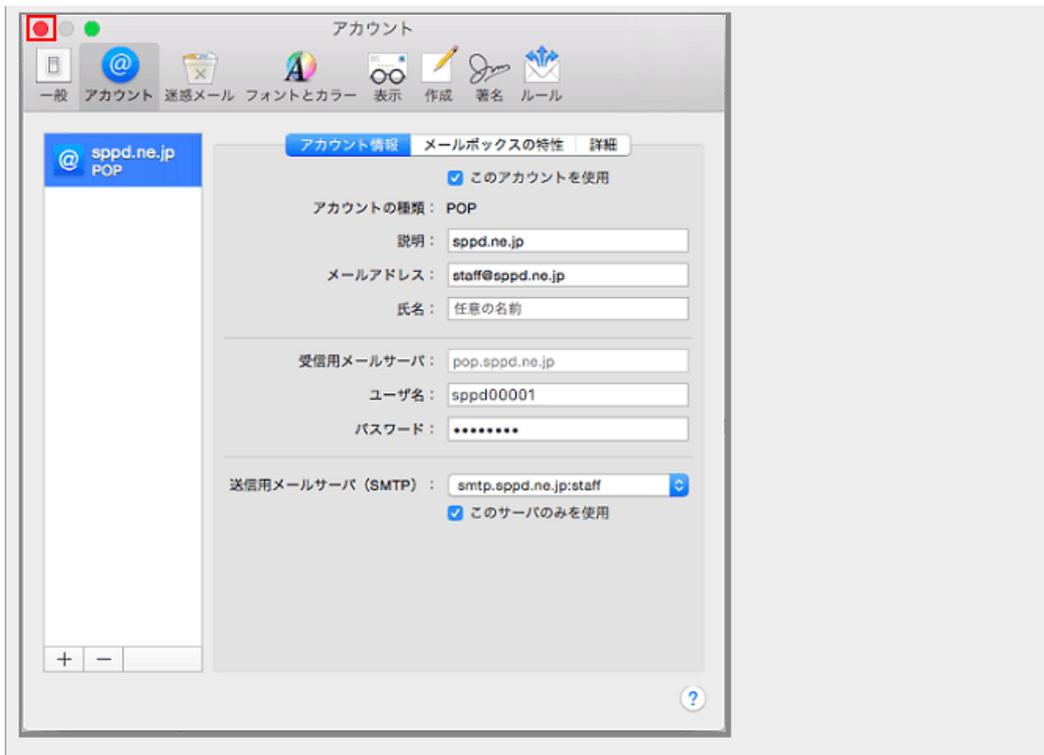
図3.アカウントの詳細変更



■ 4.編集箇所の確認。

「アカウント情報」画面が表示されたら、「送信用メールサーバー」のに先程入力したユーザ名が表示されていることを確認して、左上の閉じるボタンをクリックして下さい。

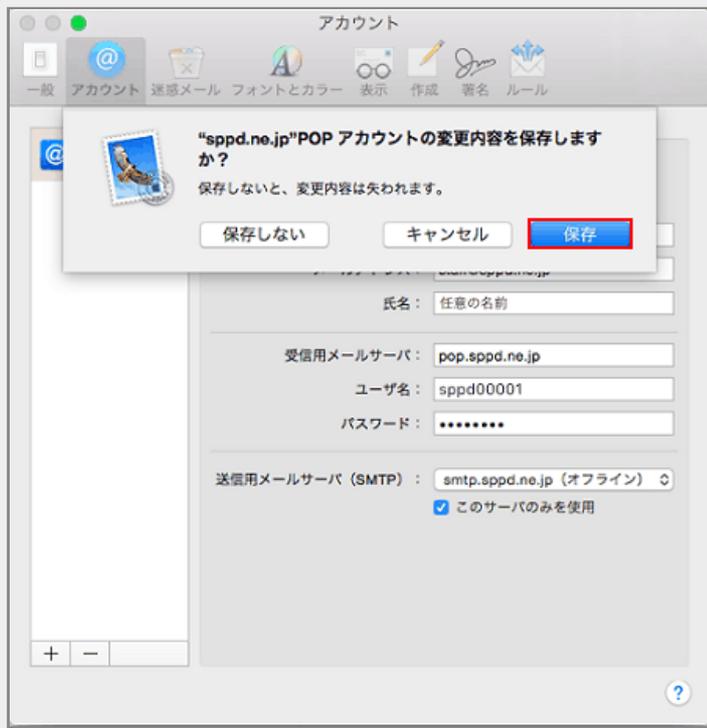
図4.完了



■ 5.編集は完了です。

下の画面が表示されたら「保存」をクリックし、編集は完了です。

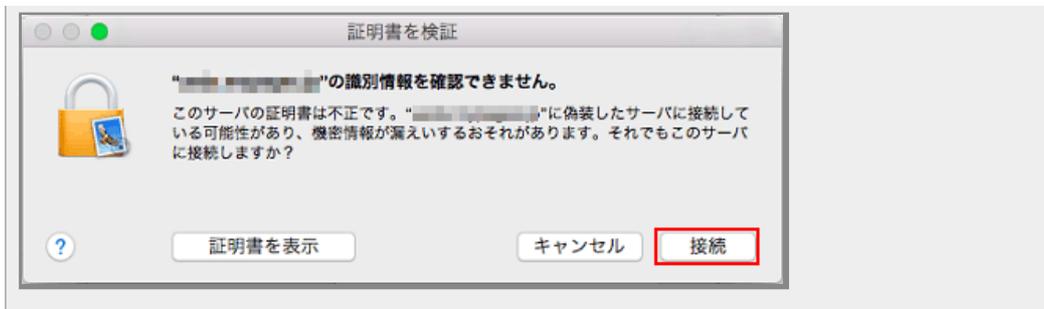
図5.アカウント編集の保存



■ 6.証明書の警告の消去方法(共用サーバーご利用のお客様のみ)

SMTP over SSLを設定しますと、Mailを起動して1回目のメール送信時のみ証明書の警告が表示されます。以下の図の警告が表示されましたら、「接続」ボタンをクリックしてください。

図6.証明書の警告

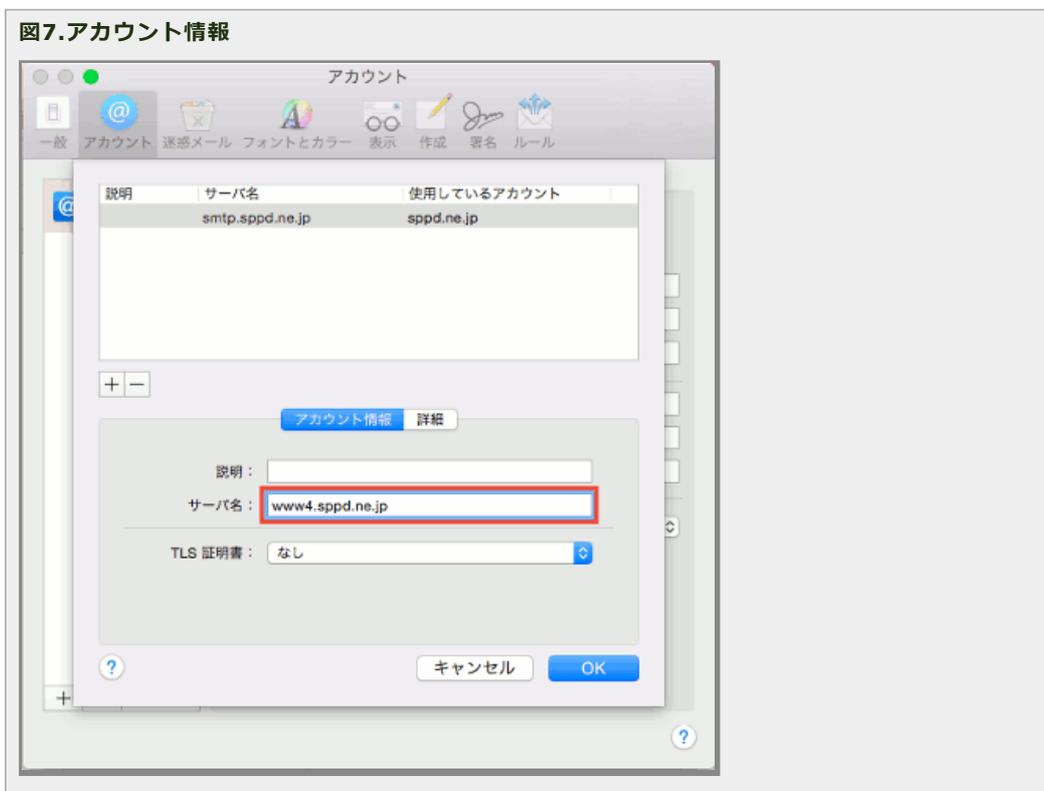


共用サーバーをご利用の場合のみ、警告を出さないように設定することができます。専用サーバー・VPS・代理店制度では設定ができません。まず、お客様のドメインがどの共用サーバーに属しているかを検索する必要があります。→[所属サーバーの検索方法](#)

共用サーバー名が判明しましたら、SMTPサーバー名を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更します。

「アカウント情報」画面より、「サーバー名」を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更したら「OK」ボタンをクリックして、設定を変更してください。

※ (画像内「www4.sppd.ne.jp」は、あくまでも例です。お客様によってサーバー名が異なりますのでご注意ください。)



※ [POP before SMTP機能]により、POP3によるメールの受信をしてから20分間だけメールの送信が可能ですが、[POP over SSL]での受信動作では送信可能になりません。そのため、メール送信の際には、通常のPOP3で一旦受信を行っていただくか、このページの中ほどに記載されているサブミッションポート(587番)を利用してメールを送信してください。